

場所 静岡県静岡市

面積 0.02ha

活動目的 地域生態系の保全、生きものとのより豊かな共生、従業員のリフレッシュ及び自然に関わるマインド醸成



サイト概要 当製作所は3つの山に囲まれており、いきものたちがその山々をいききするための、よりみちの場(休憩場所)を提供することを目的として、2016年から製作所内で生物多様性保全に配慮した緑地の整備を行い始め、以降、緑地の管理・保全・活用を推進してきた。

緑地の整備にあたっては、有識者に植栽計画等を依頼し、植栽する植物は全て静岡市の在来種を選定している。その中には、土地の開発等で伐採されそうになった植物も含まれており、保護場所、避難場所としても役立っている。2024年6月には新たな生物多様性保全の活動として、緑地の中に池を造成し、様々な生きものが憩える場を創出し、生物多様性保全の活動の幅を広げ推進している。

土地利用の 変遷

- ・ 1954年：静岡製作所(当時名古屋製作所静岡工場)創立
- ・ 2016年：緑地の整備開始
- ・ 2024年：よりみち緑地にビオトープ（池）を造成

サイト周辺の 環境

当製作所から半径1kmの範囲では、工場や住宅地などの市街地が多く、植林地や耕作地などの緑地は少ない。これらの緑地は当製作所から遠ざかるにつれて増加し、半径2km以上離れた場所の八幡山、谷津山、有度山の山塊を中心に分布している。東側にある有度山には、植林地がまとまった面積で分布されているが、西側に分布する植林地は、八幡山、谷津山、駿府公園に限られている。この他、緑地の中では広い面積を有する水田雑草群落は、南側にまとまって成立している。

アピール ポイント

地域生態系の保全、生きものとのより豊かな共生、従業員のリフレッシュ及び自然に関わるマインド醸成を目的に、緑地の環境改善や、緑地を使用したイベント等を定期的に行っている。

(例)開発地の植物保護/池の造成/定期的ないきものの調査結果に対する改善/植栽イベントの実施/緑地の素材を使用した工作教室の実施/緑地で採れた種の配布/緑地のクイズラリーの実施/看板・名札の設置

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

緑地活用の検討業務を連携して行っている企業(株)環境アセスメントセンター)の依頼で、土地の開発において伐採予定であった準絶滅危惧(NT)の植物を、緑地の木陰にて保護を行っている。

【確認された希少種】

静岡県レッドデータブックに掲載されている植物 1 種を確認している。

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
<p><目的> いきものが安心してよりみちできる環境づくりに注力し、サイト内に整備したビオトープを中心に、野鳥や昆虫が休息しやすい環境を整備する。整備の際は、周辺の生態系を乱さないよう、外来種の除去を行ったり、土地の開発や工事などで除伐されそうになった静岡市の在来植物を保護し、当該植物の植栽を行ったりする。また、緑地を活用したイベントを定期的で開催し、従業員や子どもたちへ生物多様性の大切さを伝える。</p> <p><活動内容> ①生物多様性保全活動中長期計画の作成と実施（草刈り、剪定、間引き他） ビオトープの維持管理(落ち葉・花びら拾い、藻の清掃) ②構内緑地を活用し、静岡県内の在来種/重要種保全に協力 ③従業員とその家族を招きみつびしでんき野外教室を実施 ④有識者による定期的な緑地調査の実施(人間の移動や、生きものの飛来に伴う外来種の持ち込みによる生物多様性の価値に対する脅威への対応策)</p> <p><実施体制(全緑地同様)> ①環境部門（実働は構内関係会社、毎月実施内容の確認と状況確認） ②総務、環境部門、構内関係会社、(株)環境アセスメントセンター ③環境部門、(株)環境アセスメントセンター ④環境部門、(株)環境アセスメントセンター</p>	<p>【モニタリング対象】 鳥類、昆虫類、植物類、植物の希少種</p> <p>【モニタリング場所】 ・よりみち緑地</p> <p>【モニタリング手法】 ア.ビオトープ周辺の定点観察（1箇所定点、カメラ撮影） イ.見渡せる範囲での従業員の調査 ウ.緑地全体の有識者の調査</p> <p>【モニタリングの実施時期及び頻度】 ア.毎月（月初め）、定点カメラでの監視(土日) イ.頻度2回/1年(鳥類・昆虫類)で実施 ウ.頻度通常時1回/5年(植物・鳥類・昆虫類)で実施</p> <p>【モニタリング実施体制】 ア.環境部門 イ.環境部門 ウ.(株)環境アセスメントセンターに調査依頼し、調査に同行</p>